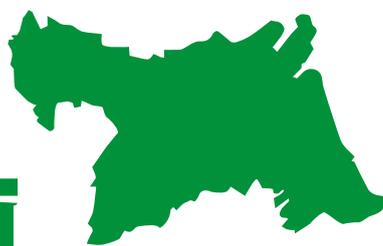


行橋市 都市計画 マスタープラン



【概要版】

平成27年 3月

都市づくりの目標

本市においても人口減少社会に備え持続可能な地方都市を目指す必要があります。人口減少社会では、維持していくことが、財政的に困難になるため、効率的でスリムな都市形成、つまり「集約型都市づくり」

都市づくりの視点

京築エリアにおける
拠点を担う中核都市
づくり

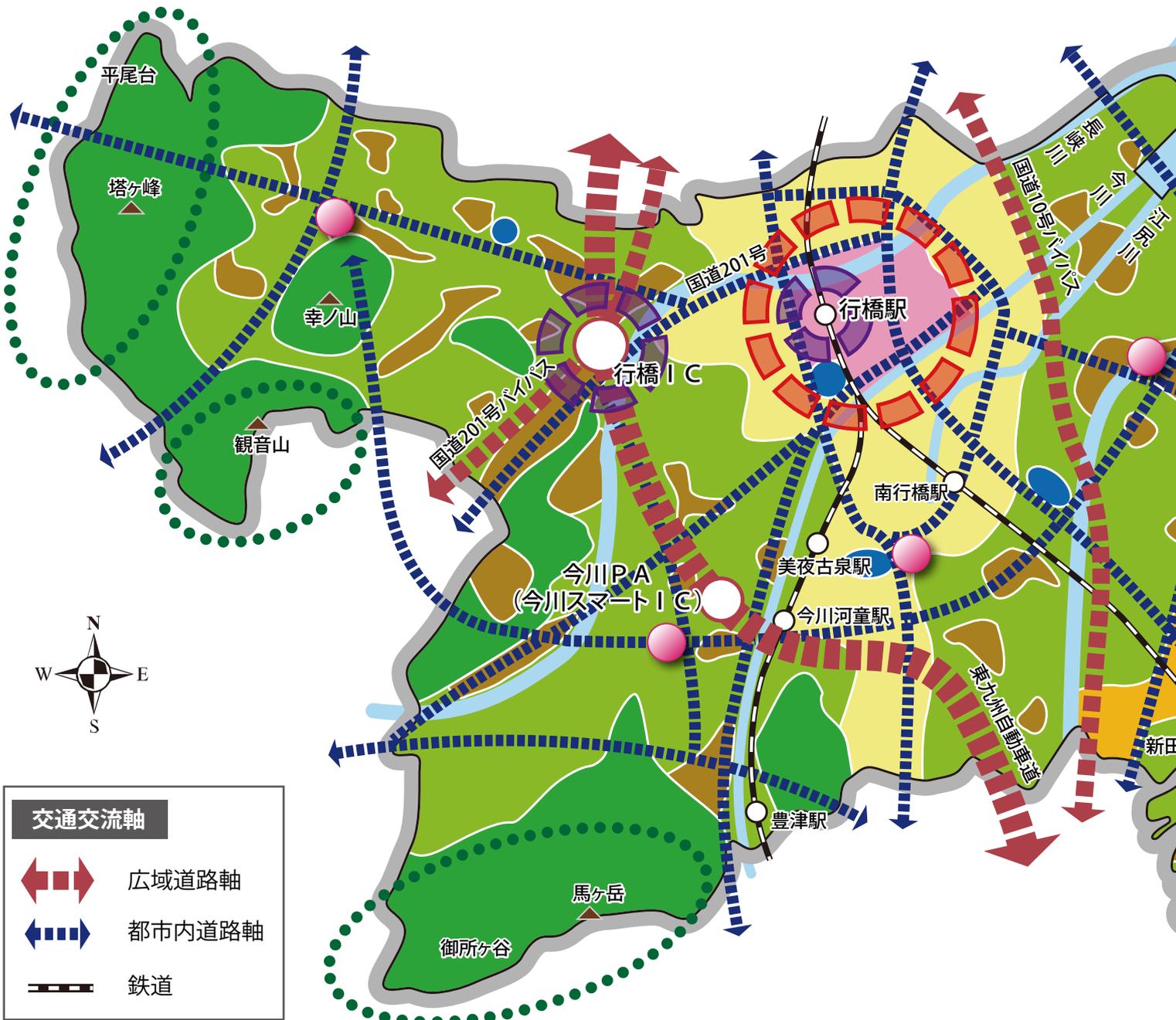
中心市街地の再活性化
と集約型都市づくり

安全で快適な市街地環
境・集落環境の整備

固有の魅力を
地域環境づく

将来
都市像

魅力がいっぱい 人が集まる パワ



高度成長期に膨らんだ社会基盤を全て
」を推進していく必要があります。

を活かした
くり

人にやさしい地域環境
づくり

ワフル ゆくはし



基本方針 1

京築地域の中核都市にふさわしい 魅力とまとまりある市街地の形成

- 中心市街地の機能集積と魅力の醸成
- 土地利用コントロールによる社会ストックとなる開発の誘導と無秩序な開発の拡散の抑制
- 公共交通の利便性の向上

基本方針 2

広域交通網と地域資源を活かした 産業力の向上

- 広域交通網・産業を支える幹線道路等の整備
- 企業誘致による産業力の強化
- 歴史・文化等の資源、農業・漁業等の生業を活かした新たな産業の創出（観光活性化）

基本方針 3

暮らしにやすらぎと豊かさを彩る 水と緑豊かな住環境の形成

- 市街地内における多様な緑とオープンスペースの創出
- 河川・ため池等の身近な水辺の整備・活用
- 美しい自然や里の風景の保全

基本方針 4

災害等に備えた安心して暮らせる 都市インフラの整備

- 誰もが安心して安全かつ快適に住み続けられる都市インフラの整備と維持
- 災害に備えた都市基盤の形成

分野別の都市づくりの方針

土地利用の方針

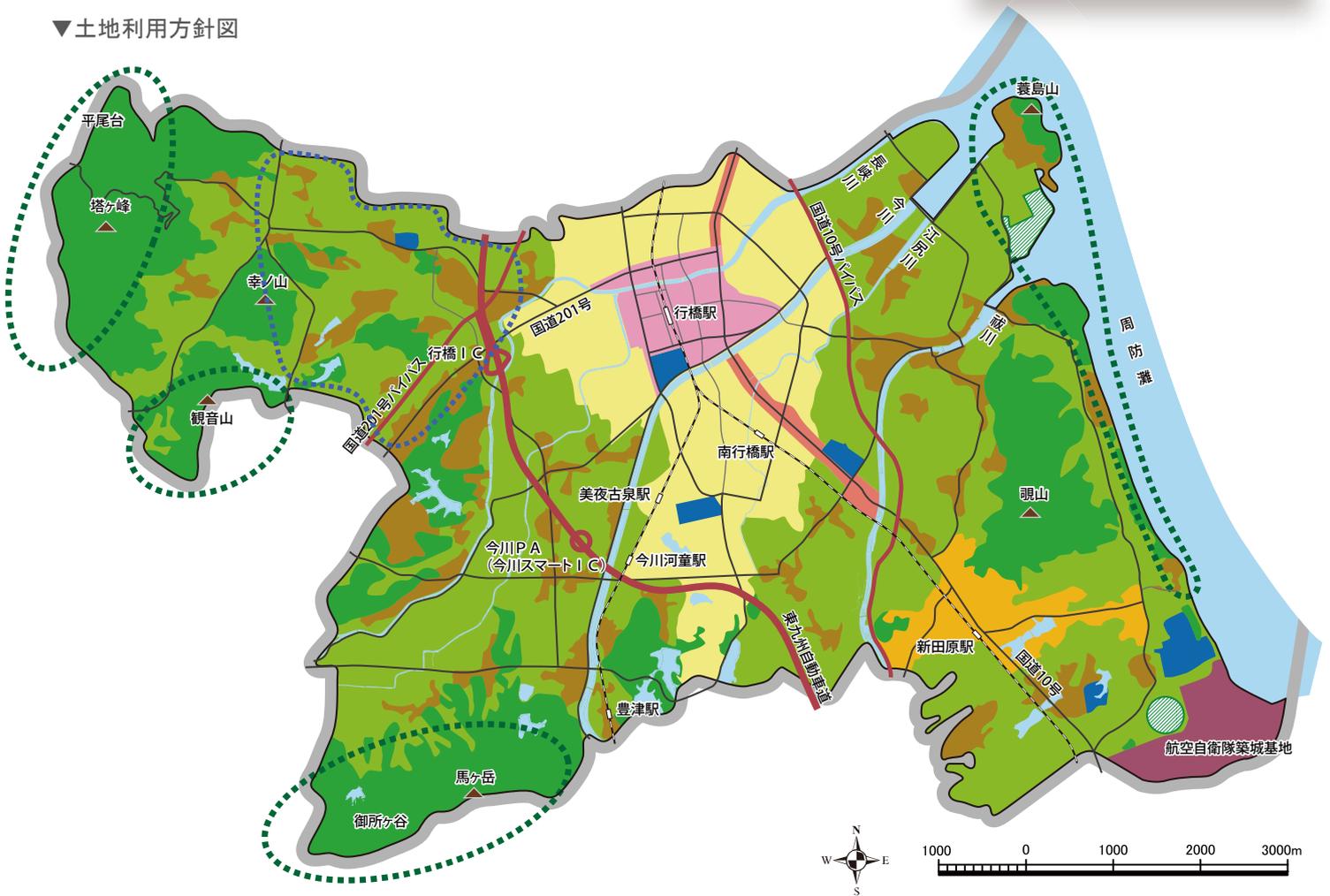
- 集約型都市づくりに向けたまとまりある市街地・集落地の形成
- 恵まれた自然的環境の保全と活用

市街地形成の方針

- 中心拠点・地区拠点の形成
- 既成市街地の再生と住環境の向上
- 計画的な市街地の形成と無秩序な開発の抑制



▼土地利用方針図



土地利用			その他	
中心市街地	周辺市街地	水面	自然保全エリア	広域幹線道路
工業・流通業務地	主な集落地	大規模な公園	工業・流通業務エリア	都市内幹線道路
沿道型市街地	農地	その他の施設用地		補助幹線道路
一般住宅地	山地・樹林地			鉄道

分野別の都市づくりの方針

供給処理施設等の整備方針

- 都市における快適な生活を支える供給処理施設の整備・充実
- 誰もが利用しやすい公共施設の整備・充実

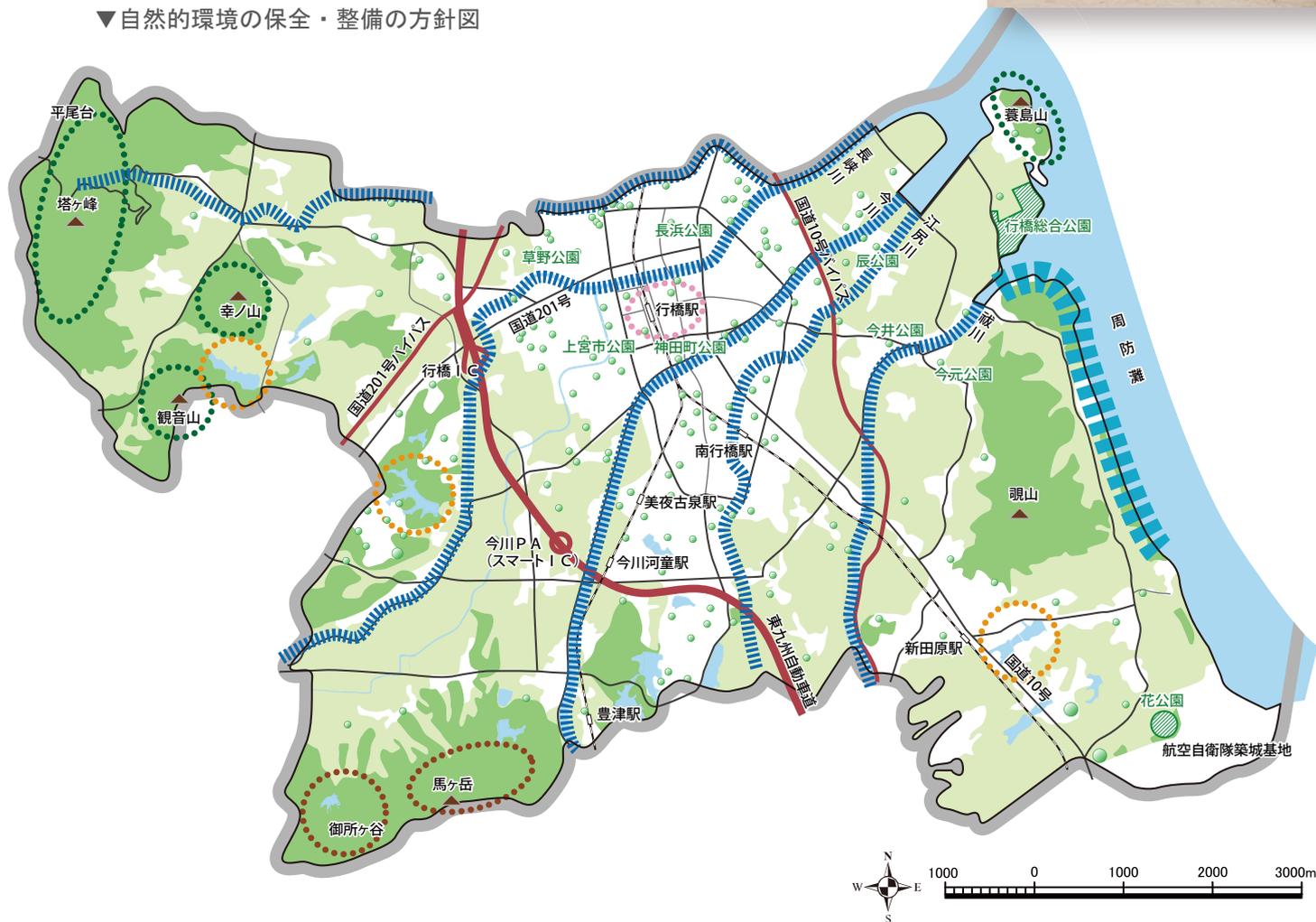


自然的環境の保全・整備の方針

- 豊かな水と緑を活かした都市環境の形成
- 日常的な交流や憩いの場となる身近な公園の整備・充実
- 市民・事業者と連携した緑の創出・育成



▼自然的環境の保全・整備の方針図



土地利用					
	大規模な公園		自然を活用した公園や散策路		歴史的資源を活用した公園や散策路
	身近な公園		ため池を活用した公園や散策路		回遊と賑わいを生み出すオープンスペース
	海岸を活かした水辺の公園や散策路		河川を活かした水辺の公園や散策路		農地
					山地・樹林地
					水面

都市防災の方針

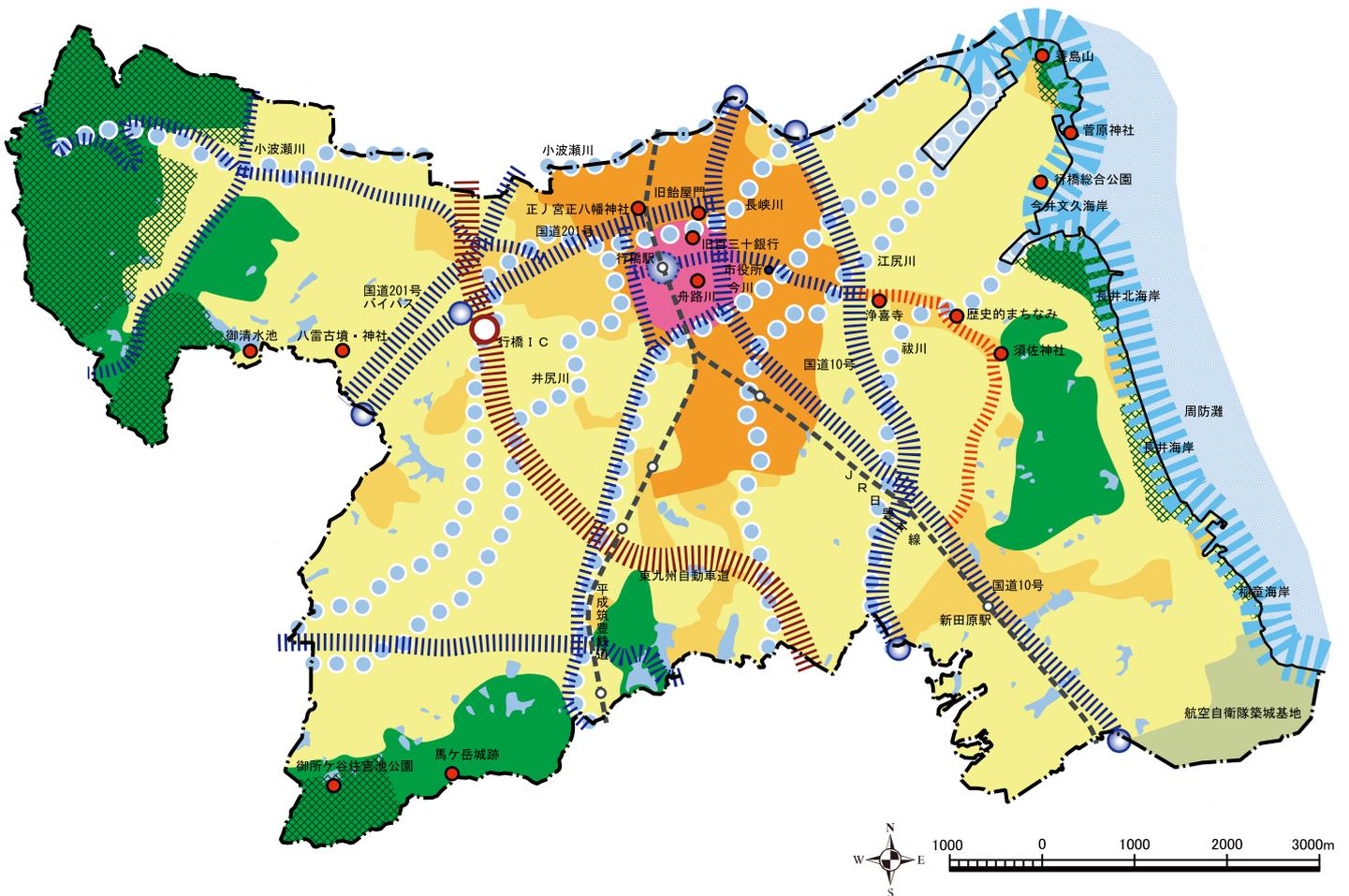
- 災害の発生を未然に防止する都市形成
- 被害を最小限にとどめる環境整備



景観形成の方針

- 緑のやまなみや水辺、田園等の自然風景と調和した景観形成
- 歴史・文化を守り・育み・伝える風情ある景観の形成
- 個性ある交流拠点都市の活力と自然と共生した魅力あるまちなみ景観の形成

▼景観形成方針図



凡例	
 中心市街地ゾーン	 田園・集落ゾーン
 市街地ゾーン	 山地・丘陵ゾーン
 住宅ゾーン	 自然公園ゾーン
 ため池等水面	 道路軸
 景観資源	 高速道路軸
 行橋の玄関口	 歴史回遊景観軸
 河川軸	 海岸軸
	 鉄道・駅
	 市域界

行橋地域

活力とにぎわいのある魅力あふれる 歩いて楽しいまち



目標1 中心拠点を担う中心市街地のにぎわい再生

目標2 快適なまちなか居住の実現

目標3 身近な水辺を活かした潤いある地域づくり



蓑島・今元・仲津地域

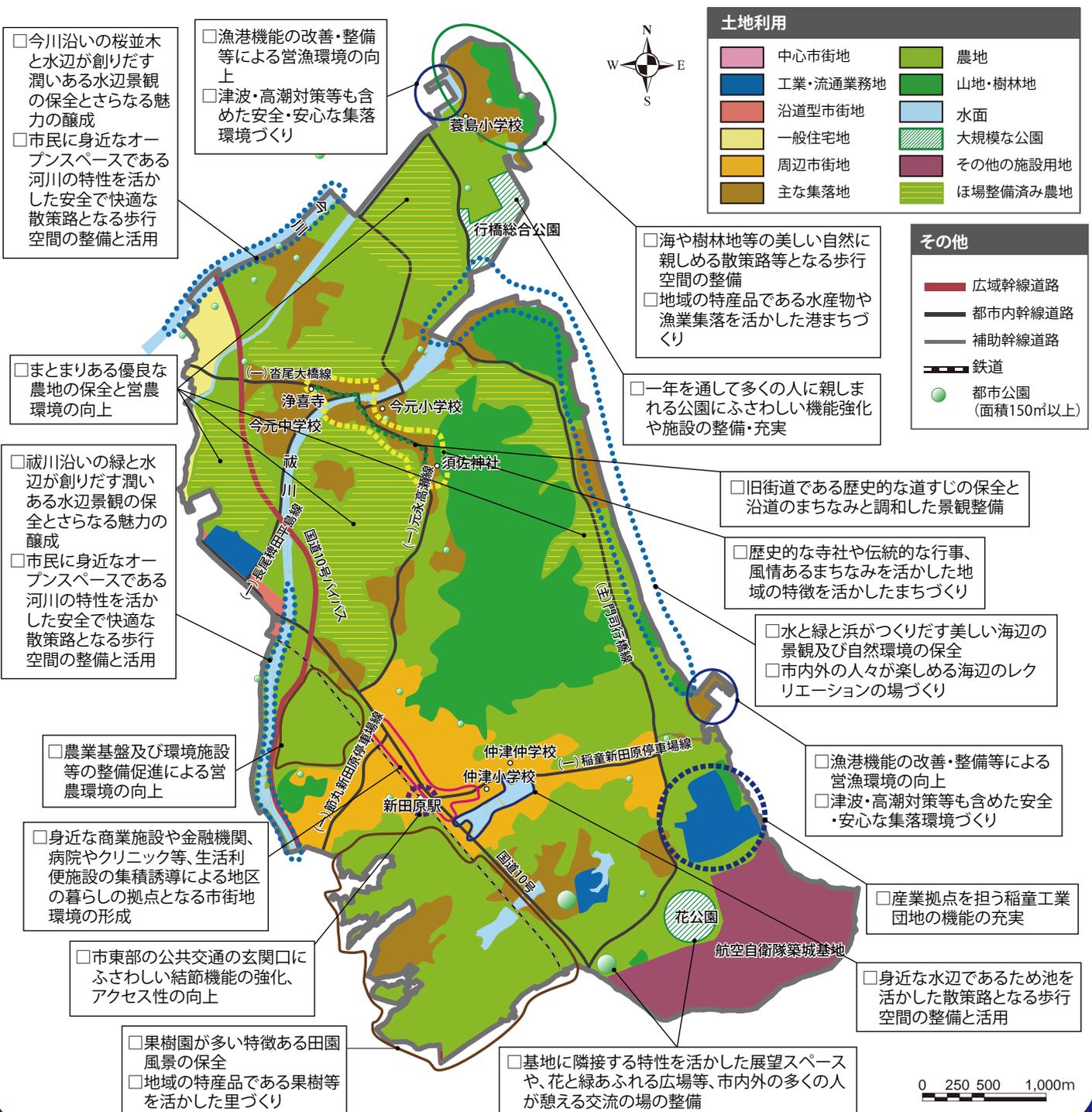
自然・歴史・人が生きる 暮らしと交流のまち



目標1 市東部における生活を支える
拠点的な市街地の形成

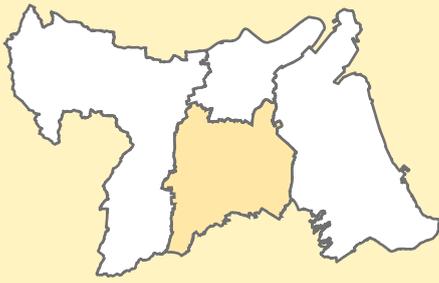
目標2 地域特性を活かした観光の促進

目標3 海と田園が織り成す里の風景の保全・活用



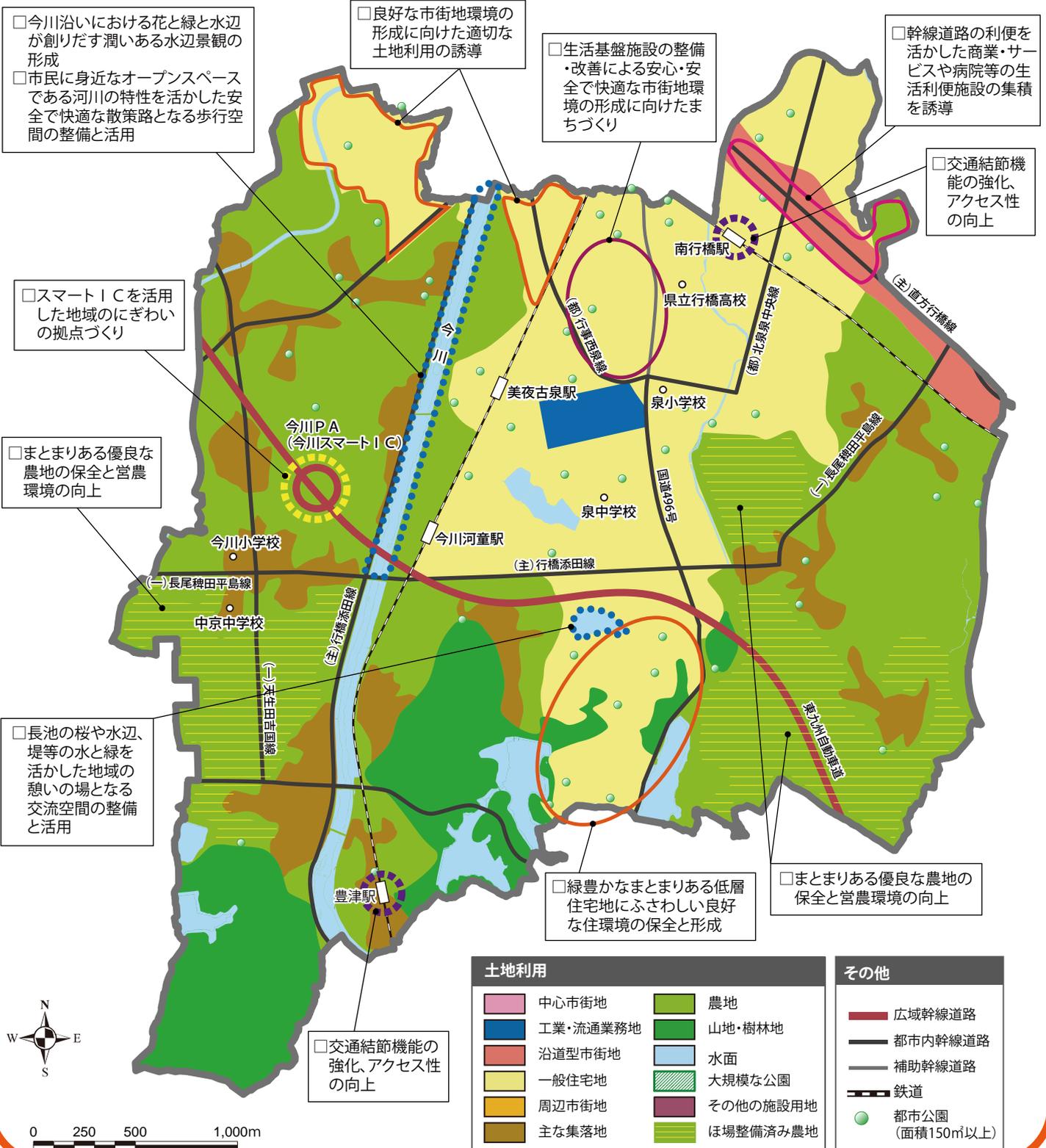
泉・今川地域

田園と水辺と生活利便が調和したゆとりあるまち



目標 1 緑豊かなゆったりとした住環境の形成

目標 2 広域交通網を活かした人・ものの交流促進



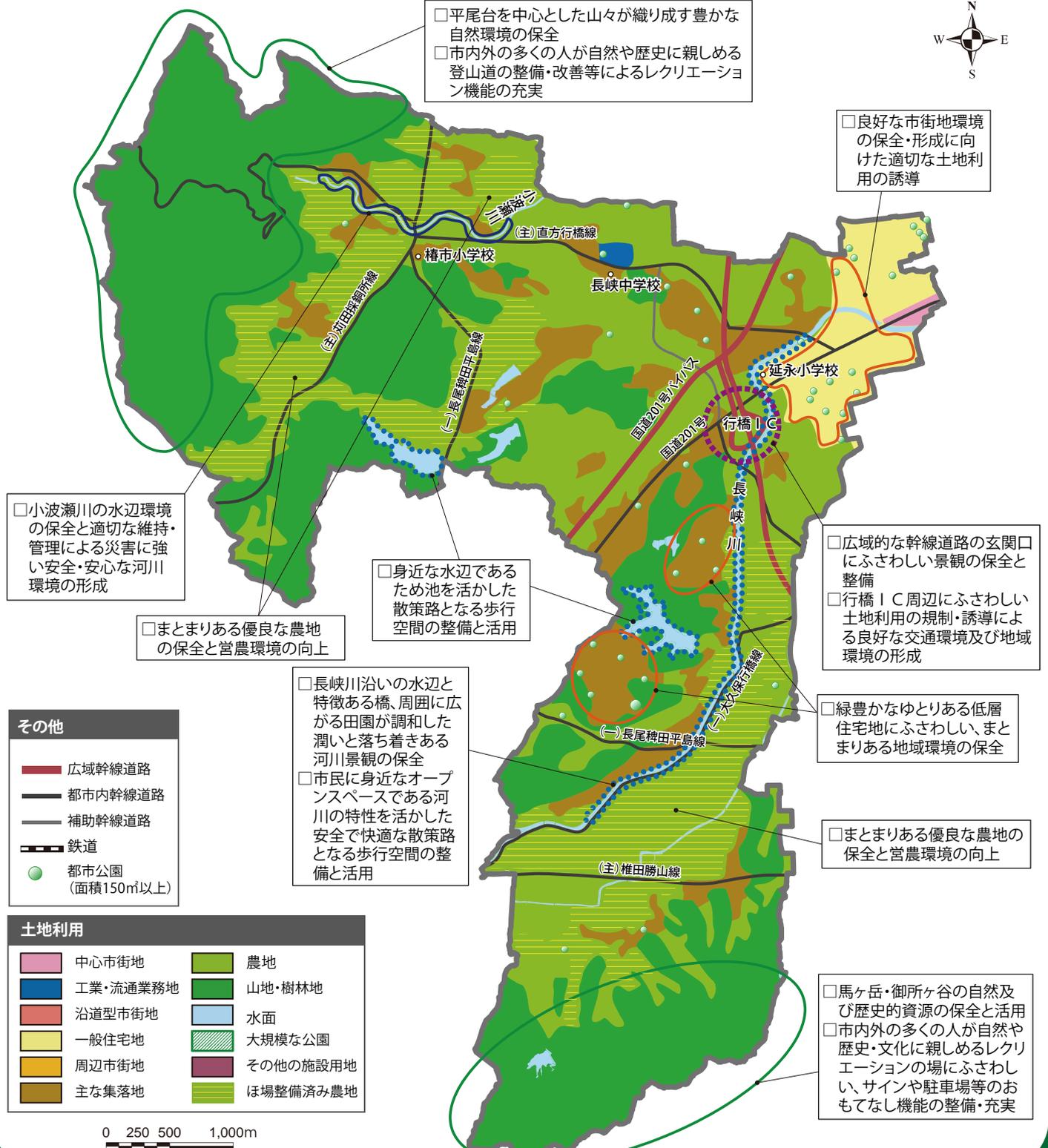
稗田・延永・ 椿市地域

山と里の恵みと生きる 豊かさを感じるまち



目標1 豊かな自然と歴史・
文化を活かした交流の促進

目標2 美しい田園風景の保全・継承



今後迎える人口減少社会に備え、持続可能な地方都市を目指した「集約型都市づくり」を推進していくために、既存ストックを有効活用した財政縮減を図ると共に、豊かな田園環境を保全する必要があります。

そのような状況を踏まえ、本マスタープランに位置づけた方針のうち、特に緊急かつ重点的に実施すべき施策として、以下のものが挙げられます。

集約型都市づくりの推進

(コンパクトシティ・プラス・ネットワーク)

- 適切な土地利用コントロールの実施
- 公共交通確保維持活性化の仕組みづくりの推進
- 中心市街地の再生



都市施設の整備

- 都市計画道路の整備
- 災害に備えた都市基盤形成



産業力の振興

- 企業誘致
- 観光振興



良好な景観の形成



緑豊かな市街地の形成